

今月の技術対策 (畜産編FAX情報)

留萌農業改良普及センター・留萌地区農協酪農畜産対策協議会

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp

その他情報も
HPで公開中!

生産抑制時の技術対応②

肥料価格が高騰しています。効果的な施肥管理で少しでも牧草生産コスト削減につなげましょう!

1 草地の用途に合わせたメリハリのある施肥管理

- 植生の良い草地や収量を確保したい採草地には優先的に化学肥料を利用する。
 - 敷料用や更新予定地には積極的に家畜糞尿を利用する。
- ※採草地に家畜糞尿を使用する際は、サイレージの発酵品質に影響する場合がありますので散布時期に注意し、遅くても収穫の1ヶ月前までに散布を終わらせましょう。

2 施肥のタイミング

チモシーは**萌芽期**(※)に施肥することで、1番草の収量が増加します。

留萌管内の萌芽期は例年4月中旬ごろですが、今年は融雪が2週間ほど早かったため萌芽期も早まり、一部ではすでに萌芽期に達しているほ場も見られます。早めの施肥対応を心がけましょう!

※**萌芽期** : ほ場全体の4~5割の牧草が芽を出し、ほ場が緑に色づく時期

表 チモシーの萌芽期

| | 苫前町 | 遠別町 | 天塩町 |
|-----|--------|--------|--------|
| R4年 | 4 / 19 | 4 / 15 | 4 / 18 |
| R3年 | 4 / 9 | 4 / 12 | 4 / 14 |
| R2年 | 4 / 18 | 4 / 19 | 4 / 19 |

~農作業安全に留意しながら作業しましょう!~